



6/9行動 『総理は核廃絶に消極的です』の声

10月6日昼休み時間、県と岡山市原水協は10月度の6・9行動を行いました。

12時15分から岡山駅前でおこなった行動には、県労会議、自治労連、医労連、高教組、岡山市職労、県人権連、平和委員会、事務局から12名が参加しました。

マイクを持った県労会議伊原事務局長は「全世界で核兵器廃絶の大きな動きがある中で、被爆国の菅首相は『核抑止力はわが国にとって必要』とのべるなど核に依存した姿勢を示しています。核兵器全面禁止・廃絶条約の交渉をすみやかに始めるよう日本政府が国際的イニシアチブを発揮するよう日本政府に求めましょう」と通行人に呼びかけました。

署名に応じた年配の婦人は「日本の総理大臣は核兵器廃絶に消極的です。中国との尖閣諸島問題の対応も頼りない」と厳しく指摘されました。

昼休みの短い行動でしたが21筆の署名がよせられました。



上・マイクで訴える県労伊原事務局長 右・署名を集める中尾県原水協代表 (10/6 駅前)

国連軍縮週間 記念行動は26日に

1978年に開かれた第1回国連軍縮特別総会は、国連創立の日の10月24日に始まる1週間を軍縮の諸目的を促進するために『国連軍縮週間』と決めました。

日本原水協は先の第292回常任理事会で、第65回国連総会第1委員会「目標期限を設けた核兵器禁止の協議開始の合意を生み出す場となるよう」世論を作ろうと10月24～30日の国連軍縮週間の全国宣伝行動を呼びかけました。

県原水協はよびかけに応え10月26日に宣伝署名行動を行います。10/26 12:15～ 岡山駅前、ビラ配布と署名。



川中優子さんの原爆症訴訟支援

放射線被爆の影響

について学びましょう

川中優子さんは岡山地裁の判決は納得できないと広島高裁に控訴しました。控訴審の闘いを支援し、放射線被爆の影響について学びます。講師は自らも被爆者である日本原水協の代表のお一人、物理学者でもある沢田昭二先生です。

2010年10月23日(土) Pm1:30～
場所・国際交流センター
講師・沢田昭二先生

もっと知ろう「安保条約」学習会

核密約はなぜ廃棄できないのか?



2010/11/16(火)
午後6時30分～8時30分
さん太ホール
講師・浅井基文氏